



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月1日

上場会社名 株式会社ダイショー 上場取引所 東
 コード番号 2816 URL http://www.daisho.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 洋助
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務人事部 (氏名) 堀脇 裕之 (TEL) 092-611-9340
 長兼広報室長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,443	8.5	155	△67.8	160	△67.2	88	△71.6
25年3月期第2四半期	7,785	—	481	—	488	—	311	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第2四半期	9.15		—					
25年3月期第2四半期	32.23		—					

(注) 平成24年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,992	7,027	46.9
25年3月期	14,312	7,015	49.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,027百万円 25年3月期 7,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	3.0	810	△27.1	800	△29.4	440	△34.8	45.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	9,868,800株	25年3月期	9,868,800株
26年3月期2Q	215,925株	25年3月期	215,925株
26年3月期2Q	9,652,875株	25年3月期2Q	9,652,934株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策の効果に対する期待感から景況感に一部明るい兆しが見られましたが、雇用及び所得環境の改善の遅れに加え、平成26年4月に予定されている消費税増税による可処分所得減少への懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、依然として消費者の節約志向や低価格志向は強く、販売競争が激化する一方、原材料費や燃料費の高騰により収益が圧迫される厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社は「飛躍のための経営基盤を構築する」という方針を掲げた平成28年3月期までの中期経営計画のスタートを切りました。当第2四半期累計期間におきましては、たれ・ソース・粉末調味料などの主力製品群において、惣菜部門を中心とした業務用製品の販路開拓に取り組み、売上の拡大を目指してまいりました。また、簡便な商品へのニーズの増加に応じた「即食」向け製品の品揃えを拡充し、積極的な販促活動を展開しました。生産面では、新工場である九州工場への液体調味料ラインの移設を予定通り8月に完了させるとともに、操業度の効果的向上に取り組みました。

製品群別の概況は、以下のとおりであります。

液体調味料群においては、九州工場の新設備により製造可能となった業務用「オイルソース」類等が、惣菜部門への積極的な拡販に伴い好調に売上を伸ばしました。この他、業務用では『塩こうじ漬けのたれ』等のたれ類も順調に推移いたしました。小売用では『おろし入り 鶏むね肉のあっさり煮の素』や新たに投入した「ぱぱっと逸品」シリーズ等、新製品が売上を牽引いたしました。これからシーズンを迎えるスープ類も、今期は定番の和風鍋スープの拡販に努めました。この結果、売上高は55億36百万円（前年同期比109.8%）となりました。

粉体調味料群においては、惣菜向けの業務用製品は堅調に推移し、小売用新製品『きのこがおいしい！アヒージョの素』も売上を伸ばしましたが、売上高は21億3百万円（前年同期比98.9%）となりました。

その他調味料群は、「即食」向け製品の『5つの味のスープはるさめ』が大きく売上を伸ばし、売上高は8億4百万円（前年同期比130.6%）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、84億43百万円（前年同期比108.5%）となりました。利益につきましては、新工場の償却負担等により、営業利益は1億55百万円（前年同期比32.2%）、経常利益は1億60百万円（前年同期比32.8%）、四半期純利益は88百万円（前年同期比28.4%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ6億80百万円増加し、149億92百万円となりました。固定資産が総資産の64.8%を占め、流動資産は総資産の35.2%を占めております。主な資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が2億32百万円、「商品及び製品」が2億70百万円、「リース資産」が1億43百万円それぞれ増加したことによります。

負債は、前事業年度末に比べ6億67百万円増加し、79億64百万円となりました。流動負債が負債合計の60.2%を占め、固定負債は負債合計の39.8%を占めております。主な負債の変動は、「短期借入金」が5億円、「リース債務」が2億32百万円、「買掛金」が2億16百万円それぞれ増加し、「長期借入金」が2億30百万円、「未払法人税等」が1億45百万円それぞれ減少したことによります。

純資産は、前事業年度末に比べ12百万円増加し、70億27百万円となりました。主な純資産の変動は、配当77百万円の支出と四半期純利益88百万円の計上により「利益剰余金」が11百万円増加したことによります。自己資本比率は46.9%となり、前事業年度末に比べ2.1%下降しました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、13億7百万円となり、前事業年度末に比べ27百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益1億52百万円、減価償却費4億11百万円、仕入債務の増加額2億16百万円等による資金の増加と、たな卸資産の増加額2億88百万円、売上債権の増加額2億32百万円、法人税等の支払額2億7百万円等による資金の減少により、前年同期比で5億89百万円収入増の2億83百万円の純収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出の3億43百万円等により、前年同期比で3億24百万円支出減の3億47百万円の純支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる純収入5億円と、長期借入金の返済2億30百万円、リース債務の返済1億56百万円等の支出により、前年同期比で1億30百万円収入増の36百万円の純収入となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年3月期決算短信（平成25年5月9日公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰延べる方法を採用しております。

② 税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,335	1,307
受取手形及び売掛金	2,333	2,566
商品及び製品	498	768
仕掛品	—	0
原材料	272	290
その他	443	373
貸倒引当金	△46	△34
流動資産合計	4,836	5,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,199	3,097
土地	2,763	2,763
リース資産(純額)	1,453	1,596
その他(純額)	1,137	1,261
有形固定資産合計	8,554	8,718
無形固定資産	18	93
投資その他の資産		
投資その他の資産	906	912
貸倒引当金	△3	△4
投資その他の資産合計	903	907
固定資産合計	9,476	9,719
資産合計	14,312	14,992

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,240	1,457
短期借入金	760	1,260
未払金	1,117	1,115
未払法人税等	235	90
賞与引当金	356	356
役員賞与引当金	18	9
その他	406	509
流動負債合計	4,135	4,798
固定負債		
長期借入金	905	675
退職給付引当金	425	450
役員退職慰労引当金	513	530
その他	1,317	1,510
固定負債合計	3,161	3,166
負債合計	7,297	7,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	5,863	5,874
自己株式	△114	△114
株主資本合計	7,000	7,011
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15	16
評価・換算差額等合計	15	16
純資産合計	7,015	7,027
負債純資産合計	14,312	14,992

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,785	8,443
売上原価	4,085	4,884
売上総利益	3,700	3,559
販売費及び一般管理費	3,219	3,403
営業利益	481	155
営業外収益	24	26
営業外費用	17	21
経常利益	488	160
特別損失	0	7
税引前四半期純利益	488	152
法人税、住民税及び事業税	176	64
四半期純利益	311	88

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	488	152
減価償却費	216	411
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19	—
売上債権の増減額(△は増加)	△372	△232
たな卸資産の増減額(△は増加)	△161	△288
仕入債務の増減額(△は減少)	△112	216
その他	△104	248
小計	△64	507
法人税等の支払額	△231	△207
その他	△8	△15
営業活動によるキャッシュ・フロー	△305	283
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△667	△343
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△672	△347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300	500
長期借入金の返済による支出	△230	△230
リース債務の返済による支出	△86	△156
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△77	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93	36
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,071	△27
現金及び現金同等物の期首残高	2,321	1,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,250	1,307

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。